

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名		第 72 回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日 時		令和 7 年 6 月 30 日（月） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分	場 所	木津川市役所 第 2 北別館
出席者 〔出席者…■ 欠席者…□〕	委 員	【学識経験者】 ■大庭 哲治委員（副会長） ■井上 学委員 【市民代表】 ■園田 仁志委員 □出石 順大委員 ■筆保 幸子委員 ■岡野 陽平委員 ■天野 豊委員 ■福井 康裕委員 ■辰巳 潤委員 ■中森 啓之委員 【事業者】 ■平野 暁子委員 ■森口 真貴委員 ※代理：濱口 健（近畿日本鉄道株式会社 新田辺駅 副駅長） ■大西 秀樹委員 ※代理：松石 康志（奈良交通株式会社 乗合事業部 次長） ■津田 秀夫委員 ■足立 高広委員 ■大江 正泰委員 ※代理：谷口 啓志 □加藤 隆委員 □梅田 幹夫委員 ■渡邊 英一委員 【行政機関】 ■中野 幸太委員 ■籠谷 建太朗委員 ■富田 幸彦委員 ■井上 真也委員 ■村上 隆夫委員 ■谷口 雄一会長 □稲垣 勝彦委員 ■米田 直樹委員 ■島川 淳一委員 ※代理：木下 勝史（木津川市 建設部 次長）		
	その他	【オブザーバー】 ■大塚 保洋（国土交通省近畿運輸局 交通政策部交通企画課 課長）		
事務局	小川政策監、茅早事務局長、西村事務局次長、楠見担当係長、井村主任、豊原主事			
傍聴者	4 人			
議 題	1. 開会 2. 議事 (1)報告事項 ①木津川市コミュニティバスの利用状況について【資料 1】 ②令和 6 年度決算報告について【資料 2】 ③「ちょこっと ながも」の利用状況等について【資料 3】			

	<p>(2) 協議事項</p> <p>①令和7年度補正予算第1号（案）について【資料4】</p> <p>②地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画（案）について【資料5】</p> <p>③木津川市コミュニティバスのバス停広告掲載実施要領の一部改正について【資料6】</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の日程について</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>
会議結果要旨	<p>1. 開会</p> <p>事務局より開会の宣言があった。</p> <p>2. 議事</p> <p>議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として園田委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況について【資料1】</p> <p>資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>②令和6年度決算報告について【資料2】</p> <p>資料2に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>③「ちょこっと ながも」の利用状況等について【資料3】</p> <p>資料3に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①令和7年度補正予算第1号（案）について【資料4】</p> <p>資料4に基づき、事務局から提案があり、原案の通り承認した。</p> <p>②地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画（案）について【資料5】</p> <p>資料5に基づき、事務局から提案があり、原案の通り承認した。</p> <p>③木津川市コミュニティバスのバス停広告掲載実施要領の一部改正について【資料6】</p> <p>資料6に基づき、事務局から提案があり、原案の通り承認した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の日程について</p> <p>後日通知することとした。</p> <p>②その他</p> <p>事務局から報告があり、確認した。</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p> <p>◎議長</p> <p>○委員</p> <p>→事務局</p>	<p>1. 開会</p> <p>会議結果要旨のとおり。</p>

2. 議事

(1) 報告事項

① 木津川市コミュニティバスの利用状況について

【配布資料】 資料 1

【主な意見・質疑等】

○インセンティブとは何を表しているのか、教えていただきたい。

→事業者の営業努力によって、運賃収入が前年度より上回った際に、その部分を還元するため、事業者に交付する仕組みである。

○補助金額にこのインセンティブが含まれるという理解で良いか。

→補助金額に関しては、国と京都府からの補助金が計上されており、ここにインセンティブは含まれていない。

○コミュニティバス車内の広告については、運賃収入に含まれているのか。

→車内広告については、運行事業者にて募集をしており、また車両自体も奈良交通の所有物である。あくまで決められた路線の運行をお願いする協定を結び、運行いただいているため、バス車内の広告収入についてもコミュニティバスとしての収入には含まれない。

○バス 1 台あたりの販売管理費がどれだけかかっているのか、稼働率がどれくらいかなど、利用者が増えているから良いということではなく、より細かい数字も分解して提示してほしい。

→運行事業者から実際に出てきている数字については細かい項目、例えば「燃料代」のような大まかな項目がベースになっている。実際市内で運行に必要なバスの台数が何台あって、それに対してバス 1 台当たりの単価をかけたような数字を示してもらっている。

○一日フリー乗車券については、令和元年度には 200 万円ほど売上があったが、令和 6 年度には 100 万円ほどに落ちているが、どういう動きがあってそのような数字になっているかが見えてこない。

◎確かに近年売上がかなり落ちている。一日フリー乗車券の販売方法については、皆さんが疑問を持つところだと思うので、情報提供願いたい。

→令和 2 年度から自主返納については、コミュニティバスの日フリー乗車券か JR の ICOCA のどちらかの選択制となった結果、多くの方が ICOCA を選択されたため、大きく減少している。

○補助金額が、令和 3 年度と比較して、令和 6 年度には半額になっている。その理由について、教えていただきたい。

→新型コロナウイルス対策による補助金額の上乗せがなくなったこと、国庫補助対象となる地区の人口が減少したことが大きく影響している。

② 令和 6 年度決算報告について

【配布資料】 資料 2

【主な意見・質疑等】

○木津川クリエイター部作成のポスターについては、令和 5 年度予算、6 年度予算どちらで支出したのか。

→令和5年度予算で支出した。

○調査計画費において、木津川市バス路線再編検討補助業務として、4,182千円支出されている。普通はそのような支出金額の高いものを概要に記載する必要があると考えるが、このバス路線再編検討補助業務の内容について詳しく教えていただきたい。

→事業内容としては、奈良交通様の路線バスである加茂線の幹線系統補助を受けるために、今までの利用実態の分析調査をはじめ、木津川市地域公共交通計画を改定するために必要な業務を委託業者に担っていただいた。

③「ちょこっと ながも」の利用状況等について

【配布資料】資料3

【主な意見・質疑等】

○木津川市地域公共交通計画に高齢者の自立した日常生活を支える移動手段の確保という項目があるが、この項目と「ちょこっと ながも」の関連性があるのか、コミュニティバス南加茂台線の利用状況について、どのような影響が出ているのか、2点質問させていただきたい。

→1点目について、ご指摘の項目の取組の1つであると考えている。今は無償でやっているが、これが仮に将来的に有償となると福祉有償運送となり、この地域公共交通会議の協議が必要になってくる。そういった将来的な運行事業のあり方も含めて、今日、この場で、途中経過についても報告をさせていただいている。

2点目について、「ちょこっと ながも」の導入以降、一定の利用者が「ちょこっと ながも」に流れたことで、前年度と比較して南加茂台線の利用が減少していることは事実である。ただ、決まった時間の方が利用しやすいという方も一定数おられるため、有料の南加茂台線についても利用はいただけている状況である。

◎公共交通日より等での周知は行われているのか。

→公共交通日よりにて周知はしていない。

◎もしかしたら周知不足の部分もあるかもしれないが、アンケートを実施することで、理解が進む部分もあるかもしれないので、その辺りも含めて、事業を進めていただきたい。

(2)協議事項

①令和7年度補正予算第1号（案）について

【配布資料】資料4-1、4-2

【主な意見・質疑等】

意見・質疑なし

②地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画（案）について

【配布資料】資料5-1、5-2、5-3

【主な意見・質疑等】

○きのつバスの補助金申請資料であるという理解で良いか。補助金額として、この金額が補助されるという見込額があれば教えていただきたい。

→木津川市コミュニティバスであるきのつバスおよび各地域内フィーダー系統路線、路線バスである加茂線の補助申請資料である。各系統に係る補助金額については、きのつバスで 19,760 千円、加茂線で 17,034 千円となっている。なお、地域内フィーダー系統については、申請時点で補助金額を算出することができないため、現時点ではお答えできない。

○きのつバスの申請資料で、事業の目標の部分の数値は令和 6 年度の情報を示しているが、加茂線の申請資料では同じ個所が令和 5 年度の数値となっている。最新の情報である必要はないのか。

→加茂線の令和 6 年度の年間乗車人数については、古寺巡礼バスを運行している関係で、今時点の集計ではこの数字が含まれたものが上がってきてしまうため、補助申請の人数に関しては、令和 5 年度の数値を記載している。

③木津川市コミュニティバスのバス停広告掲載実施要領の一部改正について

【配布資料】資料 6

【主な意見・質疑等】

○資料で新規の積水ハウス株式会社は、掲載料 120,000 円となっているが、8 月から掲載なので、月割で 80,000 円が掲載料ということで間違いないか。

→年間 12 万円のところ、月割で 8 ヶ月分となるので、8 万円の広告掲載をいただく予定である。

(3) その他

①次回協議会の日程について

次回協議会は 10 月を予定している。詳細の日時については後日通知することとした。

②その他

当日資料として配布した、①公共交通マップの更新、②コミュニティバス利用促進事業、③木津駅「みどりの窓口」閉鎖、④きのつバス利用状況分析業務プロポーザルの 4 点について事務局から報告があった。

【主な意見・質疑等】

○公共交通マップについては、英語や他言語のバージョンはないのか。

→今のところ作成はしていないが、英語版を作るのか、日本語版に英語表記を盛り込むのか、どのような対応が可能か、事業者とも協議し、検討を進めていきたい。

○みどりの窓口については、閉鎖ということであるが、駅員の数に変更はあるか。

→駅員の数に関しては、変更はないと伺っている。

○4 月の入学の時期など、通学証明書を見せることで、定期を買うが非常に込み合う状況をよく見ている。みどりの窓口閉鎖後は、オペレーターを通じてやり取りすることになると思うが、「みどりの券売機プラス」でどの程度対応できるのか。

→(JR 西日本) オンライン申込を通学定期に広げていくなどの手段もご用意はしている。遠隔センターから券売機につながるようになってはいるが、やはり繁忙期に関しては、人数を厚くして対応するなどの対策をとっていきたい。

	<p>○定期等を購入するためにみどりの窓口がない駅から、みどりの窓口がある駅に行くために、無料の乗車券のようなものを発行する制度があったと記憶しているが、いまはどうなっているのか。</p> <p>→（JR 西日本）確認させていただく。</p> <p>○みどりの窓口が廃止になるにあたり、市に相談があったのはいつ頃か。</p> <p>→5月にお話を伺ったところである。</p> <p>○みどりの窓口閉鎖については、公共交通だよりもまだ掲載されていないと思われるので、広報を木津川市の方でしっかりとやっていただきたい。</p> <p>→掲載する方向で、検討する。</p> <p>3. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--